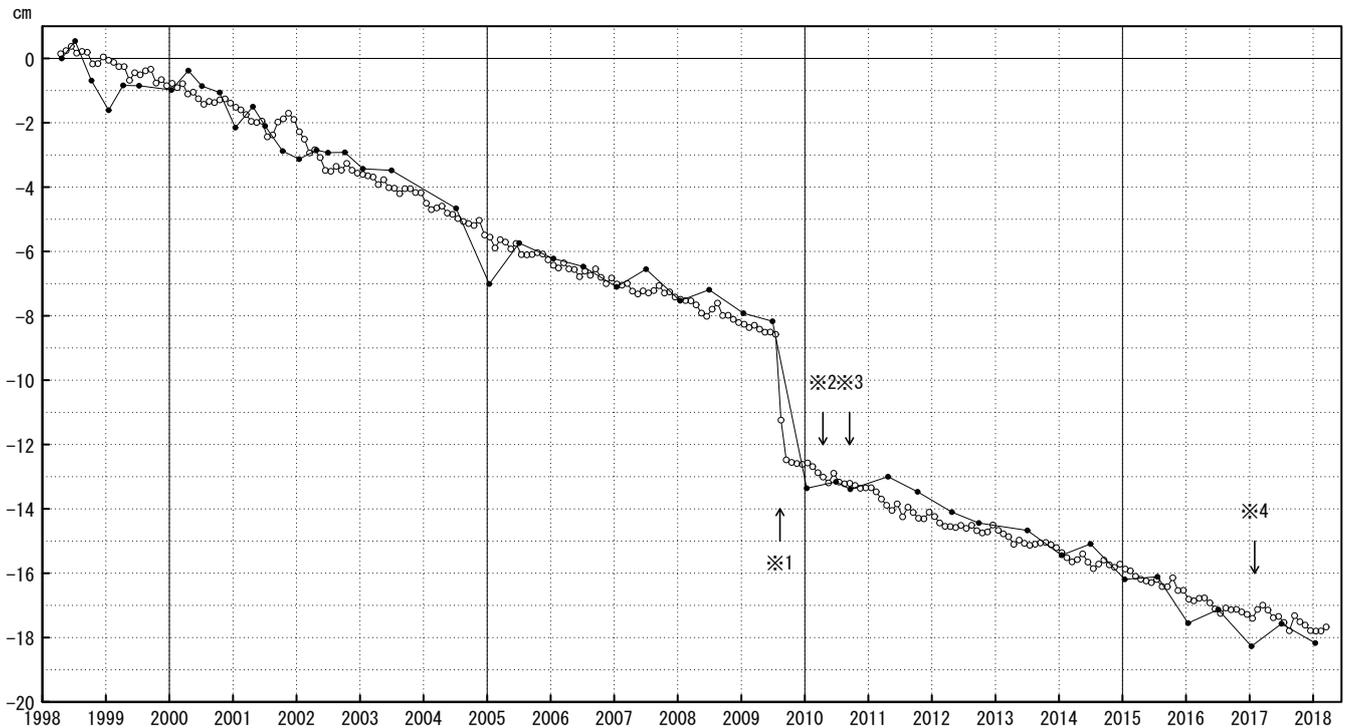


御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

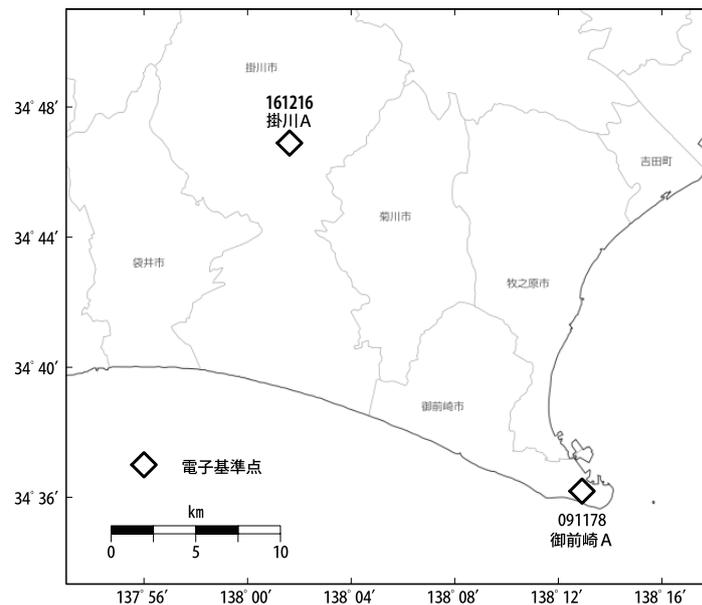
掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

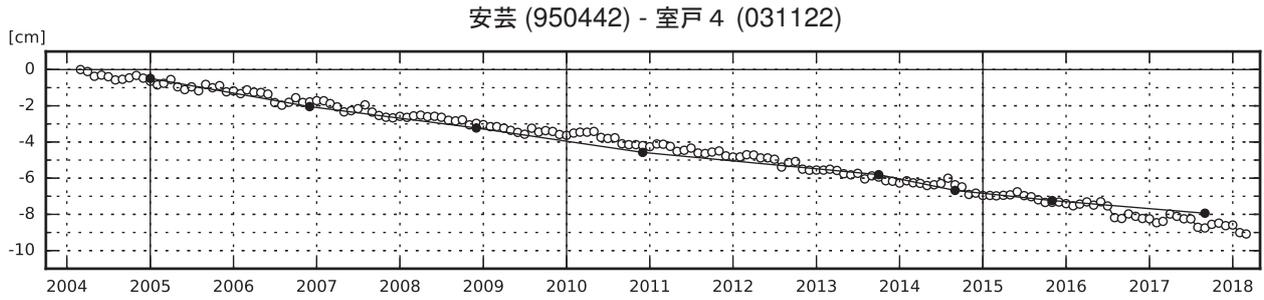
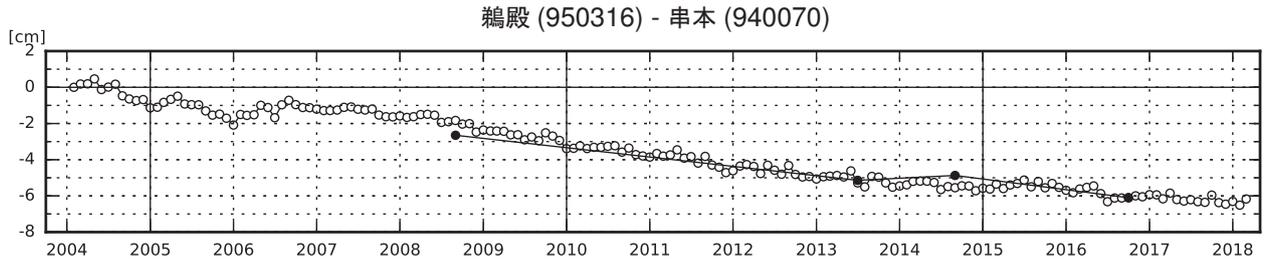
・ 最新のプロット点は 03/01~03/10 の平均。

- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



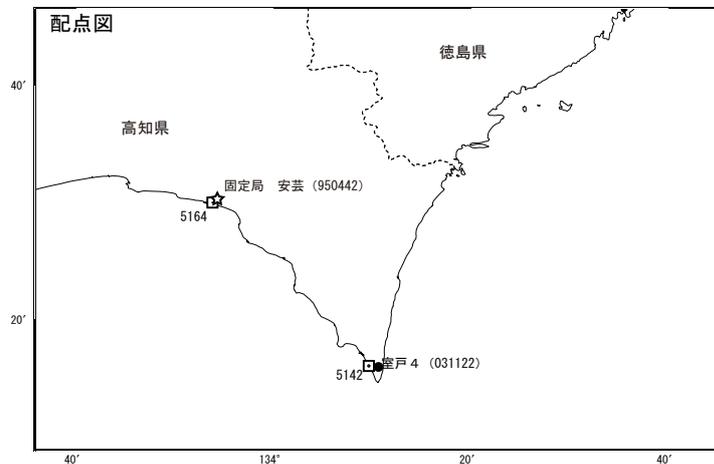
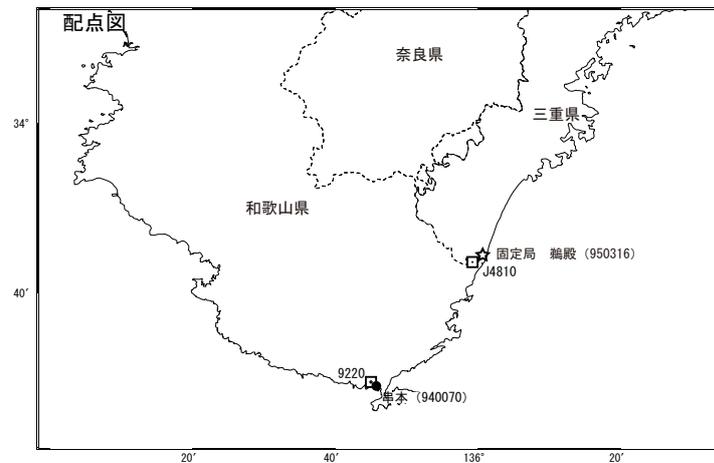
紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。



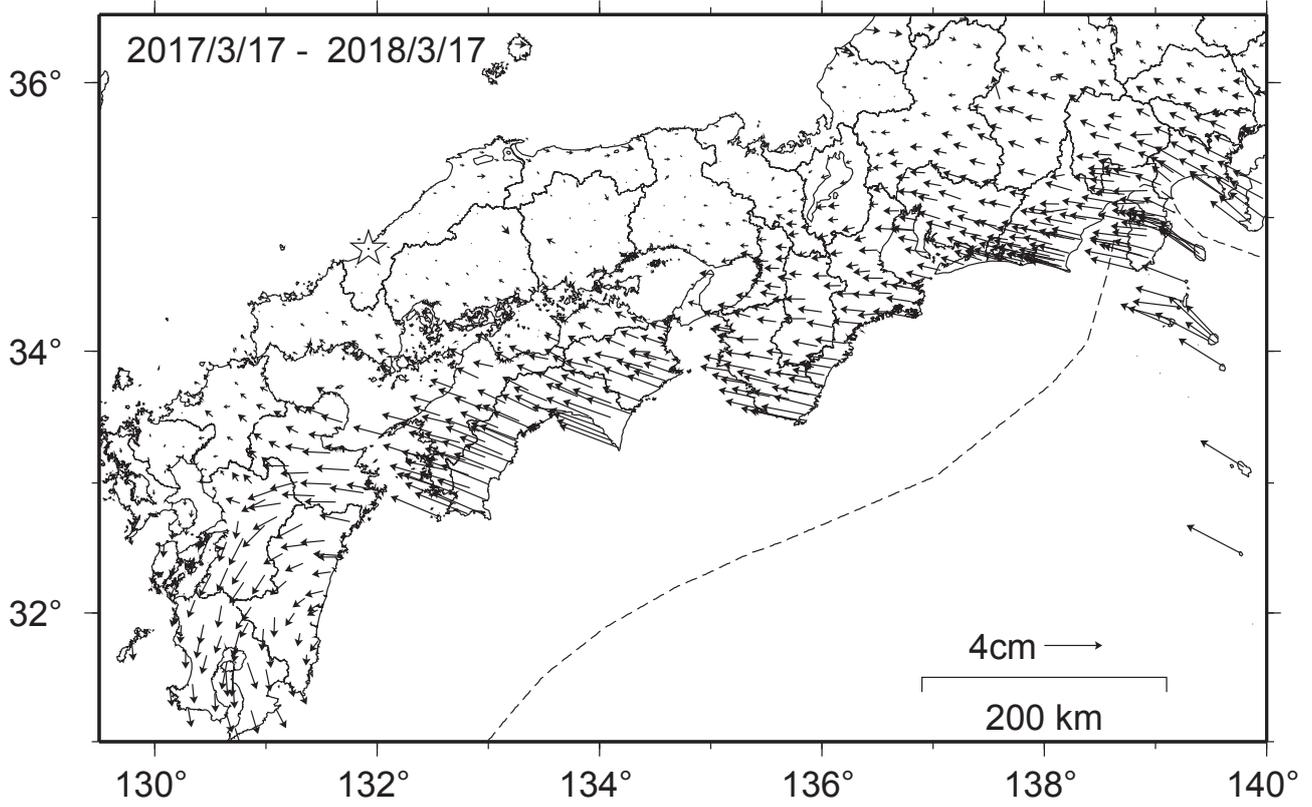
● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

- ・ 最新のプロット点は3/1~3/10の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

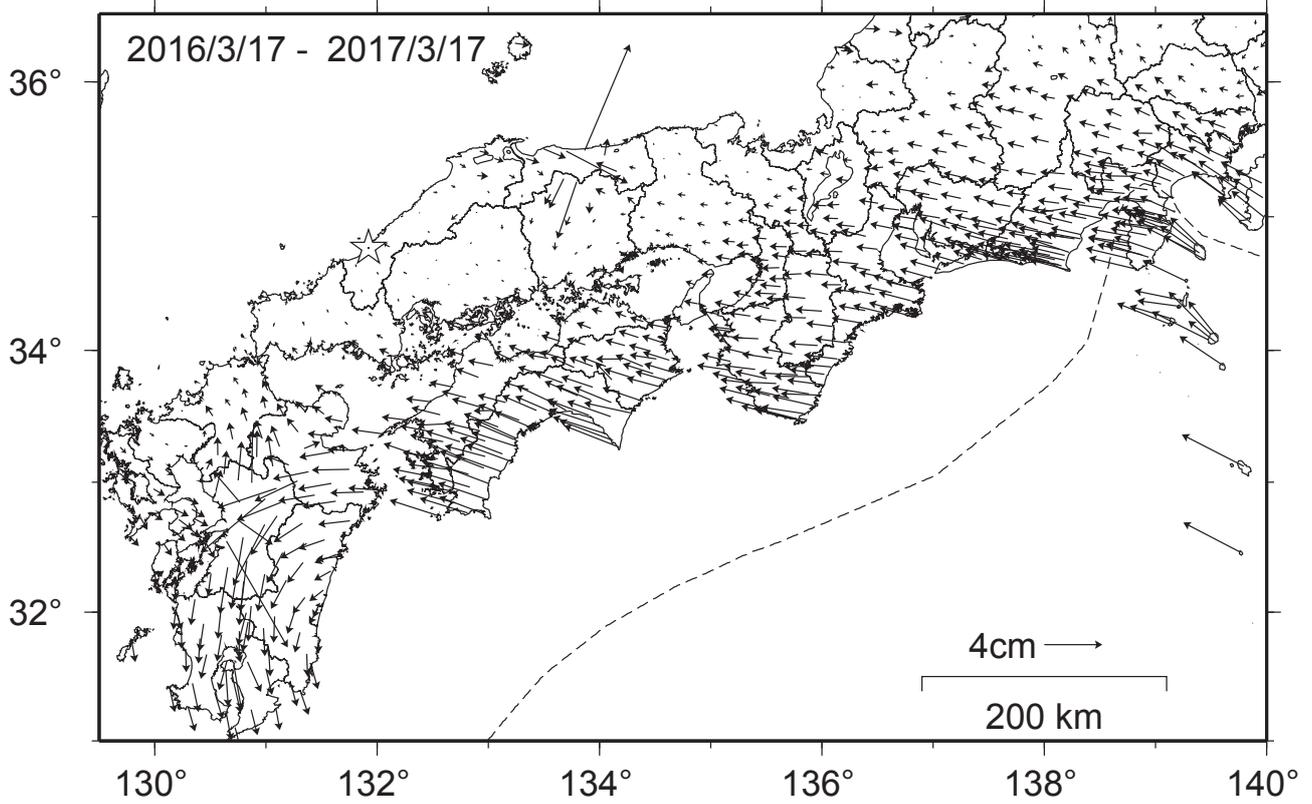


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



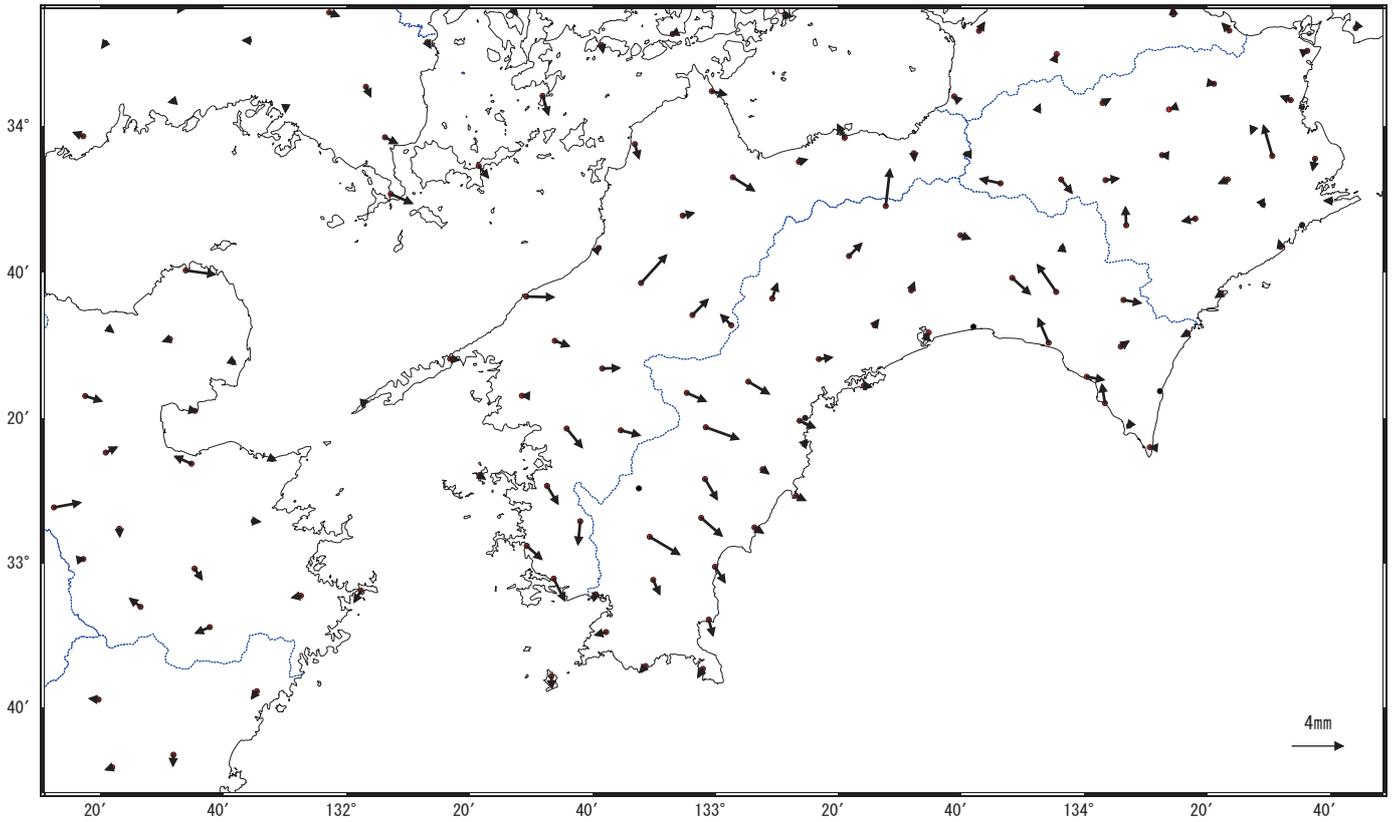
四国地方の非定常的な地殻変動（1）

四国西部で2018年2月下旬頃からごくわずかな地殻変動が観測されている。

地殻変動（水平）（一次トレンド・年周・半年周除去）

基準期間：2018/02/06～2018/02/20 [F3: 最終解]
比較期間：2018/03/04～2018/03/10 [R3: 速報解]

計算期間：2006/01/01～2009/01/01

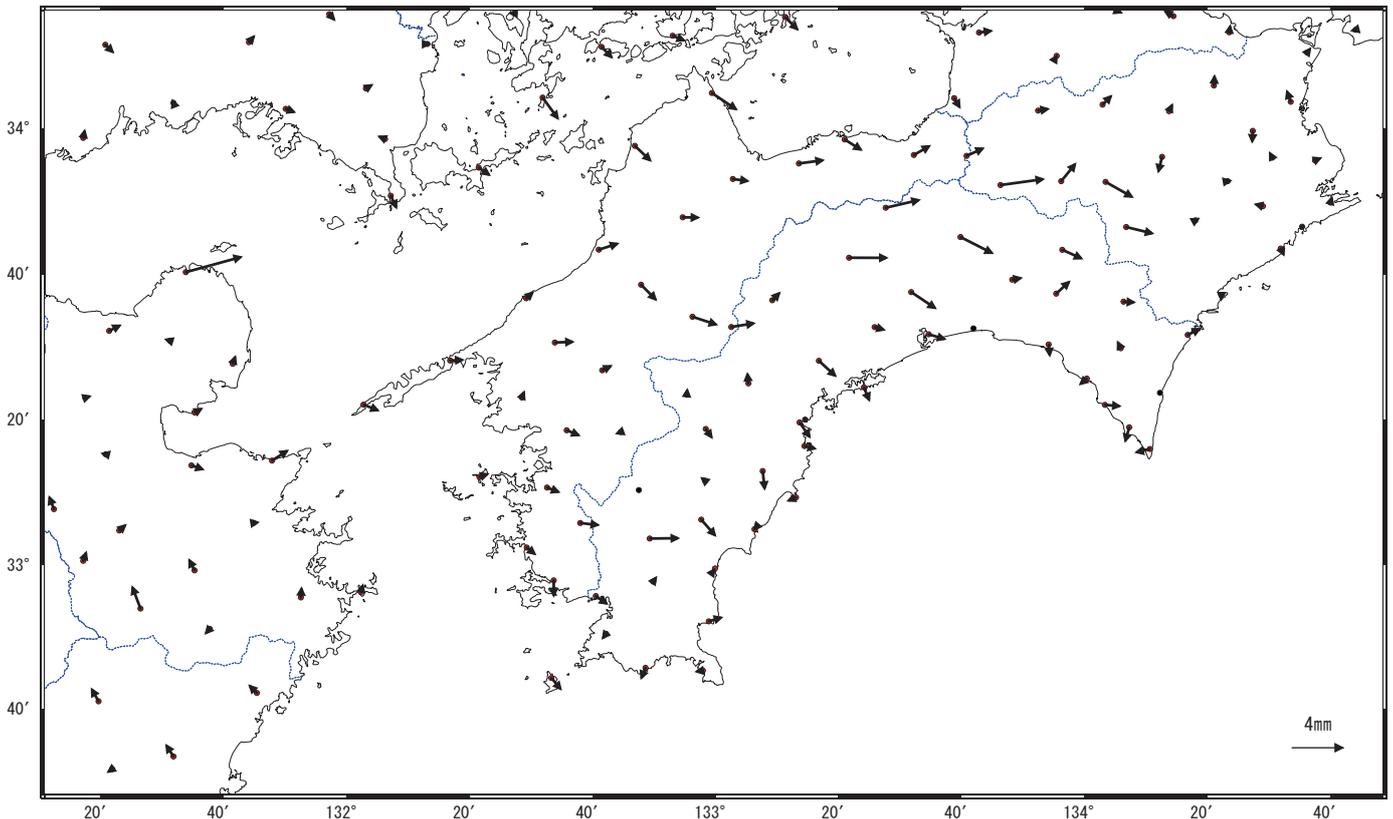


固定局：三隅 (950388)

地殻変動（水平）（一次トレンド・年周・半年周除去）

基準期間：2018/02/25～2018/03/03 [F3: 最終解]
比較期間：2018/03/21～2018/03/27 [R3: 速報解]

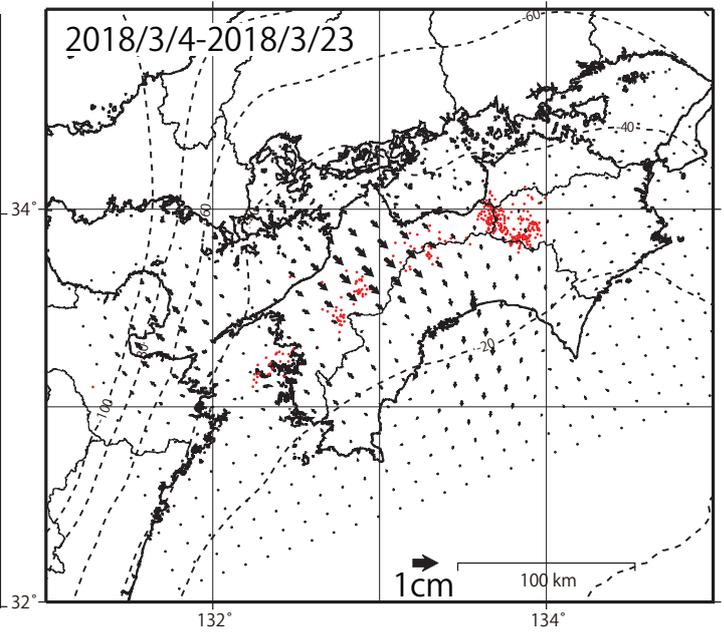
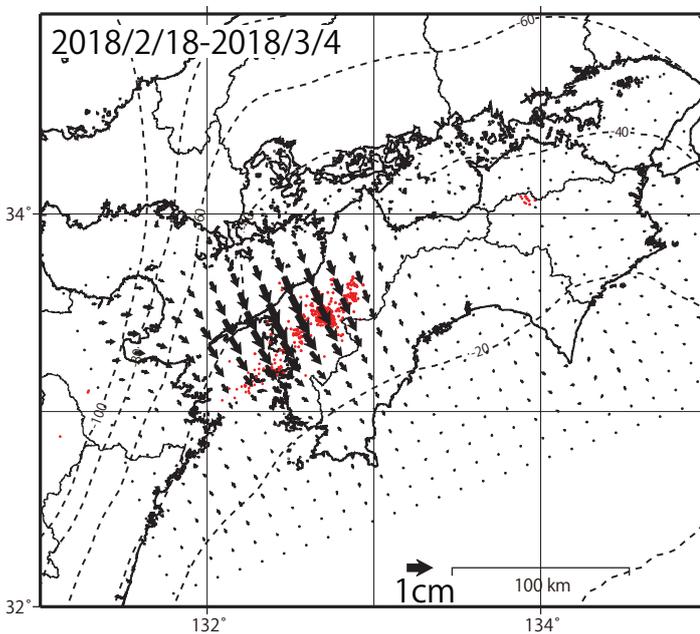
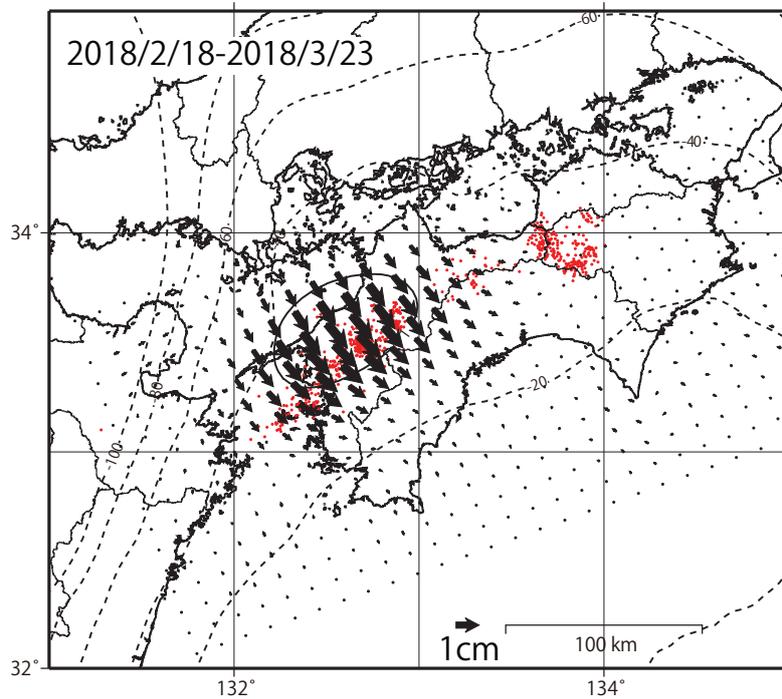
計算期間：2006/01/01～2009/01/01



固定局：三隅 (950388)

四国地方の非定常的な地殻変動（２）

非定常地殻変動から推定されるプレート境界面上のすべり分布



等量線間隔：1cm

※黒破線はプレート境界（Hirose et al., 2008）の等深線を，赤丸は気象庁一元化震源による低周波地震の震央を示す。

- GNSS 連続観測の結果から非定常地殻変動時系列データを作成し，時間依存のインバージョンを適用した。
- 解析では，空間スムージングのハイパーパラメータは最適化し，時間方向のハイパーパラメータは，最適値よりも時間方向のスムージングが大きくなるように調整している。
- 非定常地殻変動時系列：2006年1月1日～2009年1月1日から推定した一次トレンド及び2012～2016年から推定した周期成分を元の時系列データから除去した時系列。